

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(秋)はラブリーデイが優勝

11月1日(日)の4回東京9日・第11レースとしておこなわれた天皇賞(秋)(GⅠ)では、ラブリーデイ(牡5歳／栗東・池江泰寿厩舎)が優勝しました。同馬は今年、中山金杯、京都記念、鳴尾記念、宝塚記念、京都大賞典も勝利しており、JRA平地重賞の年間6勝以上は2012年ジェンティルドンナ以来3年ぶり12頭のこと。天皇賞(秋)が2000年となった1984年以降、同一年の宝塚記念と天皇賞(秋)を制したのは1988年タマモクロス、2000年ティエムオペラオーに続き史上3頭のこととなります。

●メイショウマシュウの競走馬登録抹消

2013年根岸S(GⅢ)勝ち馬メイショウマシュウ(牡7歳／栗東・沖芳夫厩舎)は、11月3日(祝・火)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は19戦6勝で、今後は滋賀県甲賀市の甲賀ファームで乗馬となる予定です。

●ロジン香港国際競走にラブリーデイらが予備登録

12月13日(日)、香港のシャティン競馬場にておこなわれるロジン香港国際競走の予備登録は10月26日(月)に締め切られました。日本からは、香港C(G1)にキタサンブラック、ヌーヴォレコルト、モーリス、ラキシス、ラブリーデイなど、香港マイル(G1)にカレンブラックヒル、ダノンプラチナ、リアルインパクト、レッツゴードンキなど、グローバルスプリントチャレンジの最終戦にあたる香港スプリント(G1)にはストレイガール、ミッキーアイルなど、香港ヴァーズ(G1)にはサトノクラウン、ヒットザターゲットなど、4レースに計50頭が登録しています。

●A.アッゼニ騎手に短期騎手免許交付

アンドレア・アッゼニ騎手に対し、短期騎手免許が交付されました。期間は11月7日(土)から12月30日(水)で、身元引受調教師は栗東・中内田充正調教師、身元引受馬主は吉澤克己氏。同騎手は今年の“キングジョージ”(英G1)やセントレジャー(英G1)などを勝利しており、JRAでの騎乗は今回が初のこととなります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●コバノリッキー、コーリンベリー、ホワイトフーガがJBC優勝

JBCクラシック(JpnI、11月3日、大井、2000m)は、逃げた3番人気のコバノリッキー(武豊騎手、牡5歳、父ゴールドアリュール)が2馬身半差で優勝、このレース連覇を達成しました。単勝1.4倍という支持を集めたホッコータルマエは、ゴール前でサウンドトゥルーに交わされて3着、2番人気のクリソライトは4着、ニホンピロアワーズは8着、グランドシチーは10着でした。

JBCスプリント(JpnI、11月3日、大井、1200m)は、先手を取った3番人気のコーリンベリー(松山弘平騎手、牡4歳、父サウスヴィグラス)が、単勝1.6倍で断然人気のダノンレジェンドの追撃を¾馬身振り切り、JpnI初制覇。2番人気のベストウォーリアは3着、レザーパレットは4着、昨年の優勝馬ドリームバレンチノは5着、ノーザンリバーは8着に敗れました。

JBCレディスクラシック(JpnI、11月3日、大井、1800m)は、6番手から直線で内から2頭目を突いた4番人気のホワイトフーガ(大野拓弥騎手、牡3歳、父クロフネ)が残り200mを切った辺りで抜け出し、5馬身差で圧勝。単勝1.3倍で圧倒的人気の昨年の覇者サンビスタが2着、3番人気のトロワボヌールが3着に入り、2番人気のアムールブリエは4着、カチューシャは11着、キャニオンバレーは13着に終わっています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●ブリーダーズC・クラシック～アメリカンファラオ圧巻の勝利

第32回ブリーダーズC・クラシック(米G1、ダート10f)は10月31日、ケンタッキーのキンシャンランド競馬場で行われ、単勝1.7倍のアメリカンファラオ(牡3歳、父バイオニアオブザナイル)が逃げて6馬身½差の圧勝を飾りました。通算11戦9勝。米三冠などG1・8勝とし、これで引退して種牡馬入りします。勝利騎手V.エスピノーザ、調教師B.バファート。良馬場の勝ちタイム2分00秒07はコースコード。ブリーダーズC・ターフ(米G1、芝12f)はアイルランドのファウンド(牡3歳、父ガリレオ)が凱旋門賞馬ゴールデンホーンを½馬身かわして勝ちました。

●メルボルンC～最低人気のプリンスオブベンザンスが優勝

第155回メルボルンC(豪G1、芝3200m)は11月3日にフレミントン競馬場で行われ、オッズ101倍の地元馬プリンスオブベンザンス(駄6歳、父ペニタイア)がアイルランドのマックスダイナマイトに½馬身の差をつけて優勝。通算24戦7勝、G1初勝利。M.ペイン(30歳)は女性初のメルボルンC優勝騎手です。日本馬2頭は着外でした。